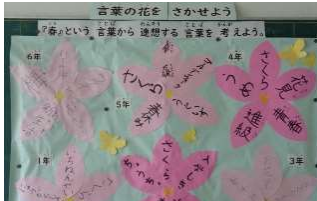


# 研究主題：認め合い、支え合い、なかまとともに学び、自立する児童の育成 一確かな学力を身に付けるための授業づくりー (桜井市立朝倉小学校)

## 1. 研究の概要

### 【研究の趣旨】

・主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善を図り、また全校体制で朝の学習に取り組んだり、家庭学習を充実させ放課後も児童が自ら考えて学習に取り組んだりできるようにした。学年・学校・家庭などが相互に関わり合いながら、学力向上に取り組んだ。



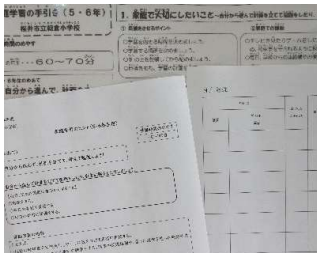
全校体制で取り組んだ朝の学習 (ことばあつめ)

### (1) 全校体制で取り組んだ指導と指導改善

- ・授業研究：研究主題に沿って研究授業に取り組む
- ・他学年との系統性を踏まえた指導に関する研修
- ・全校体制で共通課題に取り組む「朝の学習」

### (2) 家庭学習の充実

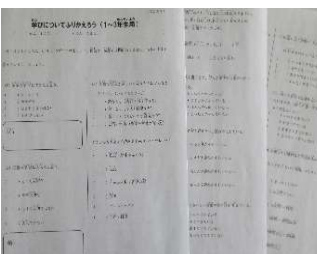
- ・家庭学習の手引きの改訂
- ・児童用の家庭学習の手引きを作成 (家庭学習のヒント)
- ・家庭学習の計画表作成
- 「家庭学習のヒント」と「家庭学習の計画表」をセットにして活用
- 計画表に保護者のコメント欄を付けて、児童の学習の様子を家庭でも把握



家庭学習の手引き、家庭学習のヒント、計画表

### (3) アンケートの作成と実施

- ・実施学年：全学年
- ・実施方法：低学年 (1～3年) 紙による実施  
 高学年 (4～6年) オンラインによる実施
- ・質問内容：学校と家庭での学習に関わること
- ・アンケート活用：①児童の実態把握  
 ②改善策や新たな手立ての検討 (学年⇒全職員)



学習についてのアンケート

## 2. 研究のまとめ

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。 (自主学習・学校の授業の予習や復習を含む。)		
	1学期	2学期
いつもできている ややできている	78.3	90.9
あまりできていない まったくできていない	21.7	9.1

【学習についてアンケート】(単位:%) 【奈良県の国語学力診断結果の正答率】(単位:%)

	A学年	B学年	C学年
県全体の平均正答率との差	+8.0	+4.0	+11.0
前年度と今年度の県全体の平均正答率との差の変容	+2.4	+7.9	+7.1

### 【アンケートの結果と教科の正答率からの考察】

授業をはじめとした指導改善の取組が、家庭でも進んで学習しようとする姿勢につながった。学校と家庭が相互に関わり合ったことで、学習意欲が高まり、自ら進んで計画的に学習できるようになったと考える。奈良県の国語学力診断結果の正答率を見ると、県全体の平均正答率との差から、本校の課題であった基礎・基本の確実な定着が見られるようになった。また、抽出した3学年における前年度と今年度の県全体の平均正答率との差の変容からも上昇が見られ、今年度積み上げてきたことが確かな力として培われていることが分かる。今年度は、他学年や家庭とのつながりを意識した取組が多かったが、次年度は地域とのつながりの中で更なる向上を図る方策を検討していきたい。

## 3. 研究へのコメント

認め合い、支え合い、なかまとともに学び、自立する児童の育成を目指した取組として、授業づくりや家庭学習等、学力向上のための具体的な実践を示すとともに、「評価指標」としてアンケート分析や県国語科テストとの比較を行うなど、客観的指標に基づく分析がなされた研究報告である。

今回の研究に基づき、更なる向上のための方策として「地域とのつながり」の検討が示されているが、地域との連携における取組と確かな学力向上との関連性をよく検討し、研究結果に基づいた必然性のある取組を開発していくことを期待する。